

花活布作り環境学習のご紹介

「もったいない」の心から
はじまった花活布。
生きた花や緑を普段の生活で
楽しめるようにしたものです。

はなかつぶは「もったいない」からはじまった。

つかわれていないのに捨てられていた
がっこうせいふくのぬのを
つかうほうほうをかんがえました。



<保護者の方への説明>学校などで使われている制服の布地は、とても品質が高く丈夫な素材です。でも、注文がなくて余った布地は全て捨てられて燃やされています。その量は実に年間数十トンです。なぜなら、制服は学校や会社の顔だから、悪用されないようにしなくてはならないからです。もったいないけど廃棄するしかないのです。だけど、服以外なら再利用できます。そこで、様々な工夫や特別な加工をして、園芸用に最適な素材に生まれ変わらせることに成功しました。このアイデアと工夫が、今の花活布の誕生に繋がりました。



せいかつの中にお花はありますか？



学校や家のどこにお花があるかな？

花やみどりがあたえてくれるきもち



子どもたちが自分の手で苗に触れ、花活布を作ることで自然や環境の大切さを知り、学ぶことができます。

花活布のつくり

根っこのついた花なえ

もやせる増地（ばいち）
ヤシガラ、もみがら、
すみ（炭）、えいよう

ばいちをつつむ布、
水をたくわえるシート



花はどうやってそだつのかな？

ひつようなもの

たね、ばいち（ヤシガラとか）、ひりょう、水、たいよう

はなかつぶは土のかわりにヤシガラをつかっているから水がよれないですることもできます



花がさくまで3ヶ月いじょうかかるよ

